支部報
よこすか
第237号
発行所
(公社)神奈川労務安全衛生協会
横須賀支部
TEL 845−9522
FAX 845−9510
発行責任者　薦野　彰
編集責任者　柴田英明

全国労働衛生週間
10月1日～7日

「健康職場　つくる　まもるは　みんなが主役」

去る九月五日（月）市立勤労福祉会館に於いて第六七回全国労働衛生週間横須賀地区推進大会が一六七名の参加のもと盛大に開催された。

司会を務める、港湾貨物運送事業労働災害防止協会神奈川横須賀支部若松氏による発声に始まり、続いて開会にあたり(公社) 神奈川労務安全衛生協会横須賀支部薦野支部長にご挨拶を頂いた。

◎開会挨拶

(公社)神奈川労務安全衛生協会
横須賀支部　薦野（こもの）支部長

全国労働衛生週間は昭和二五年に第一回が実施されてから、今年で六七回目となります。

本週間は、労働衛生に関する国民の意識を高揚させ、自主的な活動を通じ、従業員の健康維持に大きな役割を果たしてきたものと考えております。

横須賀地区におきましても、全国労働衛生週間を契機に、より一層労働衛生の意識の高揚を図るため、推進大会を開催致します。

準備期間中に実施する項目の中に、日常の労働衛生活動の総点検を行うことが掲げられています。

健康で安全な職場、そこで働く従業員と家族の安心が第一ではないかと思っております。

是非、この推進大会を契機に、事業者・労働者一体となり、自主的な労働衛生活動の一層の推進を図って頂く事を、お願いいたしまして挨拶とさせて頂きます。と結ばれた。

◎横須賀労働基準監督署長ご挨拶

神奈川県内の業務上の疾病の発生状況は、長期的には、少しずつ減少しています。

昨年度は休業四日以上の業務上疾病は神奈川県内で五一八名です。

疾病別では七割が腰痛症で、そのうち三分の一が社会福祉施設の業種が占めています。又、業務上疾病による死亡災害も、五件ありました。

その他、神奈川県、横須賀署管内の業務上疾病の発生状況等を詳細に説明された。

スローガンの「健康職場　つくる　まもるは　みんなが主役」は、労働者、管理監督者、産業保健スタッフが一丸となり健康管理を進め、労働者の健康確保を目指していく事を表しています。

横須賀労働基準監督署
齊藤署長

労働衛生対策の難しいところは、見た目で分かり難い為、有効な措置をとりにくい。結果、長い時間有害物質を、ばく露してしまったり、メンタルヘルスについても、初期の段階では、気付かない場合があります。

外見では分かり難いリスクをいかに明確に把握し、対策をしていくかが、労働衛生で大切な事だと思います。

この労働衛生週間を、ひとつの契機として、職場環境を、改善していくための取り組みを是非進めて頂きたい。と締めくくられた。

横須賀労働基準監督署
安全衛生課　毛利課長

皆様、「ご安全に！」今年で六七回になります全国労働衛生週間は、一〇月一日～七日までが本週間、九月一日～三〇日までが準備期間となっております。

労働衛生分野では、職場におけるメンタルヘルス不調や、過重労働、化学物質を原因とする健康障害が重要な課題となっております。

準備月間では、ストレスチェック制度の確実な実施、有害物質のリスクアセスメントの実施、化学物質の適切な管理、受動喫煙防止対策の推進等、業務上疾病の発生を未然に防止するための取り組みを、本週間では安全衛生パトロールの実施、スローガンの掲示、労働衛生に関する講習会・見学会の開催等、実施事項について詳細に説明された。

九月は健康診断の強化月間であります。定期健康診断の有所見率も、五〇％を超えている状況です。

健康診断は、実施しただけではなく、その結果を産業医等の意見を仰ぎ、適切な予防処置に努める事が重要であり、是非見直しを宜しくお願い致します。

九月になりましたが、まだまだ暑い日が続きます。熱中症等の恐れもありますが、是非お元気にお過ごし頂きたいと思います。

労働衛生週間という事で「お健やかに」で締めくくられた。

◎横須賀市長ご祝辞

横須賀市議会本会議の開催中により、ご欠席された吉田市長よりメッセージを頂いておりますので下記に、ご披露させて頂きます。

「第六七回全国労働衛生週間横須賀地区推進大会の開催、心からお慶び申し上げます。

今夏は、例年以上に熱中症予防対策が大変だったのではないでしょうか。又、メンタルヘルス対策の重要性も年々増していると聞いております。

皆様の日頃のご尽力に深く敬意を表します。

本日ご参集の皆様の、ご健勝と一層のご発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。」

◎趣旨説明

◎大会宣言

神奈川県社会保険労務士会横須賀支部岡村支部長により大会宣言が行われ、全員が起立してスローガンを唱和した。

その後、「職場でできる歯とお口の健康対策」の特別講演が行われ、最後に、木造家屋建築工事等労働災害防止協議会横須賀地区会の千葉会長より閉会挨拶にて大会を終了した。

（文責　二本木）

特別講演

『職場でできる歯とお口の健康対策』

講師　東京医科歯科大学　大学院医歯学総合研究科
健康推進歯学分野
教授　川　口　陽　子　氏

去る九月五日、全国労働衛生週間横須賀地区推進大会に於いて「職場でできる歯とお口の健康対策」と題し、川口陽子氏による特別講演が行なわれた。

講演は「歯とお口の健康」と「全身の健康」との関連から予防対策まで約一時間半に渡り講演された。その一部をご紹介します。

川口氏は一九七九年東京医科歯科大学歯学部をご卒業後、一九九四年にはオーストラリアメルボルン大学歯学部客員研究員となられ、一九九八年は文部省在外研究員を歴任されその後、二〇〇〇年には東京医科歯科大学大学院健康推進歯学分野の教授となられました。

現在は厚生労働省の労災疾病臨床研究事業「歯科口腔保健と作業関連疾患との関連に関する実証研究」の研究代表者として、全国の事業所と連携して研究を実施され活躍されております。

冒頭の挨拶では、災防団体主催の労働衛生大会のような場で講演するのは初めてなので、歯科医師会の活動との比較で、PRポスターの種類が多いことや衛生週間は本週間だけでなく準備月間もあり、非常に良い活動期間の設定なので「歯と口の健康週間」でも取り入れたいと話を進められた。

初めに「歯と口の健康週間」の活動について、当初は子供の虫歯予防に目を向けた内容になっていましたが一九八八年頃からは、高齢化社会に向けた活動に変化しているとスローガンを元に説明をされた。

講演される川口氏

「歯とお口の健康」と「全身の健康」は非常に関連が深く、経営にも影響するということを踏まえ、平成一九年の労働者健康状況調査の結果の説明があった。

一、歯科検診の事業所での定期的な実施を希望する人の割合は約一二%である。

二、職場で歯磨きをしている人の割合は約一九%である。

三、歯周病有病者は二〇才から六四才の成人では約七五から八五%であるが、自覚している人は七%に過ぎない。

このような結果から、歯についての関心は非常に低いため、歯周病の初期症状の認識向上や事業所にあった対応が求められる。

また、高齢者の生きがいや楽しみは、食べること、家族や友人との語らいが上げられており、高齢者の本音として「歯の定期健診を受けていればよかった」という後悔が一位になっている。

このような状況から歯を健康に保つことが重要である。

歯科の特徴としてはセルフチェックやセルフケアが出来ることであり、セルフチェックとしては歯や歯肉の普段の状態を自覚することが必要とされ、セルフケアは自分にあった歯ブラシを使い、歯磨きを丁寧に行なうことである。

また、成人に見られる歯や口の病気に口臭があり、原因の九〇%以上は口の中にある。

歯の病気の予防対策としてはセルフケアも含め、「歯科検診」、「お口の中を綺麗にする」、「禁煙する」、「しっかりかんで何でも食べる」ことが大切である。

歯周病、口臭予防はセルフケアとプロフェッショナルケアをお口にあわせての対応が必要である。

最後に川口教授オリジナルの「8020歯の健康メッセージ」の紹介があり、歯の健康にはセルフケアと歯科検診が重要であると強調され講演を結ばれた。

（文責　畑山）

事務局だより　☎845−9522

《平成28年11月～平成29年1月行事計画》

【11月度】

☆職長安全衛生教育
開催日：11月8日（火）
　　11月9日（水）
会　場：勤労福祉会館

☆5㌧未満クレーン特別教育
開催日：【学科】11月16日(水)
　　【実技】11月20日(日)
会　場：【学科】勤労福祉会館(予定)
　　【実技】池内精工㈱

☆安全体感訓練（追加開催）
開催日：11月26日（土）
会　場：住友重機械工業㈱横須賀製造所内教育訓練センター

【12月度】

☆研削と石特別教育
開催日：12月3日(土)
会　場：住友重機械工業㈱横須賀製造所内教育訓練センター

☆有機溶剤作業従事者安全衛生教育
開催日：12月14日(水)
会　場：勤労福祉会館(予定)

【1月度】

☆経営首脳者セミナー・賀詞交歓会
開催日：29年1月13日(金)
会　場：よこすか平安閣

＊会場の勤労福祉会館はヴェルクよこすかです

＊ご注意：会場予約・講師の都合により日程を変更する場合があります。その都度発行される案内をご参照下さい。
尚、協会情報は以下のホームページアドレスで確認できます。
http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/yokosuka/index.html

ご案内

『50周年記念　神奈川労務安全衛生大会』

当協会は50周年を迎え、記念大会が開催されます。横須賀支部は大会担当支部として100名の参加者を求められております。開催案内は本部より各会員事業所へ郵送されます。式典、特別講演まで**参加費無料**です。会員事業所の皆様、多数のご参加をお願い致します。
尚、参加申込みは、横須賀支部事務局へ
ＦＡＸ（046-845-9510）をお願いします。

記

● 日　時　28年11月15日（火）14：00～16：45
● 会　場　横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ 5F「日輪」
横浜駅西口地下道　徒歩1分
TEL045-411-1111

≪特別講演：辛坊　治郎≫
『どうなる日本！？
～政治経済の明日を読み解く』

監督署便り

「製造業向け未熟練労働者に対する安全衛生教育マニュアル」について

経験年数の短い未熟練労働者（正社員、パート、アルバイト、派遣労働者等の非正規雇用労働者も含む）は、作業に慣れておらず、危険に対する感受性も低いため、労働者全体に比べ労働災害の発生率が高い状況にあります。

本マニュアルは、特に製造業の中小規模事業場における雇入れ時や作業内容変更時等の安全衛生教育に役立つよう作成しております。

以下に内容を簡単に記載します。

一、職場にはさまざまな危険がある！

二、「かもしれない」で危険を意識する！

三、安全な作業は正しい服装から！

四、決められた作業手順を守る！

五、４Ｓ・５Ｓの励行で安全を高める！

六、安全な作業をみんなで実施し職場を安全に！

七、もし異常事態や労働災害が発生したら！

製造業で働く「未熟練労働者」の労働災害防止のため、より効果的な安全衛生教育の実施をお願いします。

詳細は、厚生労働省のホームページをご参照ください。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000118557.html

平成二八年度神奈川県地方最低賃金額引き上げ、最低賃金の引き上げに向けた中小企業の支援策の拡充等について

本年度の神奈川県最低賃金額の改正が決定しました。

時　間　額…九百三〇円

効力発生日…平成二八年一〇月一日

また、これに伴う最低賃金の引き上げに向けた中小企業の支援策の拡充等について、平成二八年度第二次補正予算案において、中小企業最低賃金引上げ支援対策費補助金（業務改善助成金及び業種別中小企業団体助成金）及びキャリアアップ助成金について、助成額等の拡充等を行います。（ただし、平成二八年度第二次補正予算案に盛り込まれた助成金の拡充部分についての支給は、同補正予算成立が前提となります。）

詳細は、神奈川労働局のホームページをご参照ください。

http://kanagawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/news_topics/topics/_120514.html

産業保健総合支援センター及び地域産業保健センターの活用について

平成二六年四月から「産業保健活動総合支援事業」として、次のセンターにて事業場の産業保健活動を支援しています。

一、産業保健総合支援センター

事業場や産業保健スタッフ等を対象に専門的相談対応、研修を行っています。

詳細は、神奈川産業保健総合支援センターホームページをご参照ください。

http://www.kanagawas.johas.go.jp/

一、地域産業保健センター

五〇人未満の事業場を対象に、相談、個別訪問指導、産業保健に関する情報提供等を行っています。

詳細は、産業保健関係機関等リンクより、三浦半島地域産業保健センターをご参照ください。

http://www.kanagawas.johas.go.jp/link.html#kakutiikisanngyou

無料講習会のご案内について

神奈川労働局が実施する無料講習会のご案内をします。いずれの講習会も労働基準部健康課にお問い合せの上、申し込みください。

件名：「化学物質のラベル表示とリスクアセスメントに関する無料セミナー」

化学物質の管理強化に関する改正労働安全衛生法の背景、ＧＨＳマークの内容と意味やリスクアセスメントの目的と進め方等について説明があります。

特に戦前・戦後を通して沢山の歴史的遺産があり、追浜工場の中にも、戦闘機を格納していた倉庫や、明治憲法の草案を作成したとされている記念樹があるとのこと。

ご趣味は「部活」並のテニス、時々海外旅行とのこと。休日は、テニスかご近所の二つのショッピングモールに出かけられるそうです。

抱負について尋ねたところ、「安全」に携わる際に、「安全第一」とは何か、ということを教えて頂きました。安全を保つことこそ、安定して品質の良い製品の生産が可能になる、だから「安全第一」だと。その「安全」を確保するために伝えている言葉があります。「３ＣＭ」です。これは、「三秒、ちょっと、まて」の略称です。

三秒程度の時間を使って、ちょっと待って考えることをすれば、しなくていい災害を防げると思います。

市内にはいろいろな企業が在り、いろいろな方とお話させて頂き、勉強させて頂ければと、結ばれました。

（文責　木本）

一回目

日時…平成二八年一〇月一三日(木)
一三時三〇分～
場所…相模原南メディカルセンター
大会議室

二回目

日時…平成二八年一〇月三一日(月)
一三時三〇分～

三回目

日時…平成二八年一二月二日(金)
一三時三〇分～
二、三回目
場所…横浜第二合同庁舎一階
共用第一会議室

※一、二回目は製造業等の一般事業者向け。三回目は建設業及び建設関連事業の事業者向け。

件名…平成二八年度「働く人の健康づくり研修会」～ストレスチェック制度・運用の実際―事業場での取組の実例～

本人同意のないストレスチェック結果をどのように扱うか、実施者・実施事務従事者の選任のしかた、高ストレス者への面接指導をスムーズに実施するには等の質問が多数寄せられているため、取り組みを進めている企業・事業場の実際の取組事例が発表されます。

日時…平成二八年一〇月一三日(木)
一三時三〇分～
場所：横浜第二合同庁舎一階
共用第一会議室

最後に、「ころばＮＩＣＥかながわ体操」も、よろしくお願いいたします。

人　クローズアップ

日産自動車㈱追浜工場
総務部 部長
菅　　隆 氏

今回は、副支部長として、協会の運営にご尽力いただいております、日産自動車株式会社追浜工場総務部部長の菅　隆氏をご紹介いたします。

菅氏は総務関係の部署を長く担当されており、本社、横浜工場、栃木工場、座間事業所を経て追浜工場に赴任されてから二年半になられます。座間事業所在職中には、当協会厚木支部の副支部長を歴任されております。

現在は、藤沢市内に奥様とお母様、叔母様の二世帯住宅でご一緒されているとのこと。

横須賀の印象について尋ねたところ、地元の歴史などを調べてみると面白いところだと感じました。

神奈川労働局長　奨励賞受賞

去る七月七日（木）神奈川労働局安全衛生表彰式において横須賀支部より奨励賞を受賞されました事業場の活動内容を紹介していただきましたので掲載いたします。

ジョンソンコントロールズ
オートモーティブジャパン合同会社
追浜工場

一九六一年、追浜工場設立（当時、池田物産）、当事業所は日産自動車㈱追浜工場内の構内にて、自動車の内装部品である座席シートの組立製造を行っています。

各種座席シート

事業所の安全衛生活動は、弊社の中央安全衛生委員会より会社方針、目標値が決定され、それを受けて事業所の安全衛生管理者である工場長と安全衛生環境委員会メンバーにて、安全衛生活動方針及び安全・衛生・環境管理年間活動計画を作成し実施されています。

毎月の工場安全衛生環境委員会で活動状況を確認し、発生した問題点についてはその都度検討を行うなどＰＤＣＡサイクルによる安全衛生管理活動を確立しています。

自主的な安全衛生活動として、安全衛生環境委員会メンバーによる安全パトロール、衛生管理者パトロール、５Ｓパトロール、安全行動観察、ヒヤリハットメモ（リスクアセスメント手法による解決）にて不安全箇所をチェックし改善指導をしています。

工場教育として、エルゴノミクス、リスクアセスメント、防災・避難・漏洩各訓練を実施。（※エルゴノミクスとは、「人間工学」と翻訳される。弊社では、作業姿勢・反復作業等の傷害や疾病の要因となる潜在的リスクを削減あるいは排除するための活動）。

リスクアセスメントの実施状況は、ＪＣＭＳ（Ｊｏｈｎｓｏｎ Ｃｏｎｔｒｏｌｓ Ｍａｎｕｆａｃｔｕｒｉｎｇ Ｓｙｓｔｅｍ）活動の一環として、定型（通常）および非定型（変則的）ジョブまたはタスクを特定するために作業一覧表を作成し、その全作業についてリスクアセスメントを実施しています。

メンテナンス作業のリスク回避としては、ＬＯＴＯ Ｓｙｓｔｅｍ（※ＬＯＴＯとは、「ロックアウト・タグアウト」の略）の導入である。主に、設備修理や調整等の非定常作業時に、機械装置のエネルギーを分断し、第三者が再投入できないように施錠し、表示することで誤操作による災害を防止し、作業者の安全を確保しています。

また、労働災害の発生頻度の高い高所作業に関しては、高所作業プログラムを策定し、従業員だけでなく外注業者に対しても教育、指導を行っています。

安全衛生意識の高揚のための活動は、Ｓａｆｅｔｙ Ｗｅｅｋ（毎年一週間とし、イベントテーマを決め各拠点にて活動）を実施しています。

災害事例展開等。弊社海外拠点の災害事例を展開し、自工場での現状の確認を行い、必要に応じて対策を行い、報告しています。また、自動車関連メーカーの災害事例の水平展開を実施しています。

職場の安全衛生対策、①疲労軽減マット②熱中症対策（一時間毎に三分間のドリンクタイム設置と黒球式熱中症指数計（ＷＢＧＴ）を設置。定期的に管理監督者が巡回チェックし指数を確認。③インフルエンザ予防接種、工場での接種継続（十年）前回実績九六％（接種率の高い理由として、産業医に事業場に来て施術していただいている）

以上の様な活動の取組が評価され、今回の表彰に繋がったのではないかと思います。

今後もこの様な活動を維持向上させ、より安全な職場の構築に努めたいと考えております。

ご寄稿いただきました関根様に深く感謝申し上げます。

★ ご婚礼・ご宴会承ります ★
よこすか平安閣
〒238-0041　横須賀市本町 1-4（ベース前）
ご予約、お問い合わせはフロント予約係まで
フリーダイヤル 0120-23-1122
http://www.heiankakuyokosuka.com

お気軽に、ご相談ください！
安全衛生診断・改善指導、安全衛生教育・講演
化学物質のリスクアセスメント教育等
白須労働衛生コンサルタント事務所
所長 白須吉男
〒239-0845　神奈川県横須賀市粟田１－23－10
電話（FAX）046－848－2301
E-mail：yshirasu@jcom.home.ne.jp

デザイン・オフセット印刷・オンデマンド印刷
有限会社 舟津印刷
Funatsu Print
〒220-0061 横浜市西区久保町31-23
TEL：045-242-3171㈹
FAX：045-241-0478
E-mail：lei05155@nifty.com

21世紀　企業の発展は
働く人の健康確保から
50人未満の事業場の事業主・労働者の皆さん　地元の産業医による健康保健サービスをご利用ください（無料です）
三浦半島地域産業保健センター
（神奈川産業保健総合支援センター・三浦半島窓口）
〒238-0005　横須賀市新港町１－11（横須賀市医師会館内）
TEL&FAX 046－822－3053